

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年5月10日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4675500062 |
| 法人名 | 有限会社 ふれあい企画 |
| 事業所名 | グループホーム みぞべ |
| 所在地 | 鹿児島県霧島市溝辺町崎森1891番地15 (電話) 0995-58-9220 |
| 自己評価作成日 | 平成23年4月11日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://kaken-shakyo.jp/kohyo |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成23年4月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様との会話の時間を大切に日々穏やかにゆっくりゆったりと楽しく過ごして頂けるように取り組んでいる。地域との関りを持ち良好な関係作りが出来るように取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

庭の真ん中に大きな楠木があり、のどかで静かな落ち着いた雰囲気のあるホームである。
基本理念に基づくケアで、利用者はゆっくりと楽しい時を過ごしている。
天気のよい日は庭に出て日光浴をしたり、買い物や散歩・自宅周辺へのドライブなど、本人や家族の希望に応え、できるだけ外出の支援をしている。
地域の美化運動にホームとして取り組み、草払いなどに参加して、地域住民と親しい交流を重ねコミュニケーションを取っている。
近隣に民生委員や町内会長が住んでおり、気軽に話し合い理解と協力が得られて心強い。
地域住民から野菜などの差し入れや立ち寄って利用者と親しく交流している。
庭に菜園があり、利用者や職員と一緒に野菜を育て収穫を楽しんでいる。
避難訓練は地域住民が参加して一緒に訓練を行っている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 理念を掲げ毎朝の申し送りの時に復唱し日々の仕事で実践するようにしている。 | 毎朝復唱したり、会議等で管理者と職員が理念を確認し合っている。施設の基本理念を基に利用者・家族と暖かく接し、地域の方々とも、交流の機会を作り、地域密着型サービスに取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩途中や買物の際に声かけを行い交流を図っている。地域の花見や美化作業など参加行い日頃からの付き合いが行なえるように取り組んでいる。 | 散歩や美化運動を通じ、近所との交流を大切にコミュニケーションを図っている。民生委員や町内会長が、近隣に住んでいて、日頃から協力関係にある。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 運営推進会議の時など情報を提供し認知症に対する理解を求めたり認知症を予防すると題し講演を行ったりしている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の際は利用者の状況等の報告を行っている。また、地域や家族の方の意見もとり入れるようにしている。 | 行政や家族の代表をまじえ、運営推進会議で外部評価の報告や入居者の状況報告・避難訓練などの実施について意見交換をしている。また、会議を通じてアンケートなどを実施して、その意見をサービス向上に活用している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 市町村主催の健康福祉まつりの準備や大会など参加するようにしている。また、市町村で行われる研修等には参加し連携を図るよう努めている。 | 市の主催する研修へ積極的に参加している。また、認知症関係のサービスや祭りなど、市との連携強化を図り、協力体制も築いている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束に関する勉強会を事業所で実施し職員の共有認識を図っている。又、日々の申し送り時等には日々のケアを振り返り自覚のない身体拘束がないか話し合いをしている。マニュアルを作成し閲覧できるようにしている。 | 昼間は玄関や居室に施錠はなく、見守りが強化されてさりげない対応で、自由に生活できる環境である。勉強会や申し送りで話し合い、身体拘束をしない取り組みをしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会を開き職員へ説明を行っている。又、資料を閲覧できるよう配布している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 勉強会を開き職員へ説明を行っている。又、資料を閲覧できるよう配布している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約時には疑問点など説明するようにしておりその他にも随時、相談にのるようにしている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>利用者の言葉や態度から思いを察する努力をしている。。又、家族からの意見などもとり入れるようにしている。相談苦情などについても受付について入所時に説明している。随時、アンケートを取り要望を把握できるようにしている。</p> | <p>日々の支援を通じて、要望や意見を把握している。またアンケートをとり日々の業務に取り入れている。面会、各行事等を通じ、家族などの意見をもとに、運営に反映できるようにしている。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>ミーティング時等に意見を聞き話し合いを持ち出来る事はとり入れるようにしている。</p> | <p>管理者は職員の現場での悩みをよく聞き、また職員会議などで意見が出やすいように配慮している。また職員の意見を運営に取り入れている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>管理者や職員の努力、実績、勤務状況を把握し給与及び賞与等を配慮している。又、職員の資格取得に向けた支援を行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>管理者や職員への勉強会及び研修会は月1回行い外部での研修にも参加させる機会を設けている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>始良伊佐地区グループホーム連絡協議会のネットワークがあり勉強会や他事業所との職員同士の交流などを通じて質の向上を図れるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入所前に面接を行うようにしており入所してからも個別に話を聞き、希望にそうようにしている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>相談時より家族の困っている内容について他のサービスの説明も行い入所される場合の希望も聞くようにしている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談を受けた際、他のサービスなどの説明も行い選択できるようにしている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>畑仕事など利用者と一緒に話し合いながら行ったりしている。また、一緒に楽しめるように工夫しておる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人家族の思いや状況を見極めながら外出等で一緒に過ごす事を勧めたり行事に家族を誘ったりしながらより良い関係の継続に努めている。また、面会時には日々の状況など連絡行い情報を共有できるようにしている | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの友人など面会に来られる。また、入居以前からの病院に行かれたり関わりが継続できるよう努めている。 | 希望があれば、以前暮らしていた地域に職員とドライブしたり、知り合いと交流をしたりしている。ホームに友人や地域の人など気軽に面会に来たりしており、馴染みの関係が続けられるように支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 家事や買物、散歩、レクリエーション等の日常生活の中で助け合い協力できる場面を作っている。又、一人ひとりが楽しく過ごせるように勤めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所後も電話など相談がある際には応じるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の関りの中で声かけを行い個別の思いなど把握に努めている。意思疎通が困難な方には家族や関係者から情報を得るようにしている。 | 利用者が管理者にいつでも相談できる雰囲気を作り、入り口のドアを開放している。利用者がよく立ち寄り、相談や世間話などを行っている。その中から思いや意向の情報を把握している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族に聞くなどして把握に努めており職員間で共有するようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの生活リズムを把握すると共に行動や小さな動作から感じ取り全体像を把握しながら有する能力を活かせる様に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | アセスメント時には本人、家族、職員の意見を取り入れ介護計画を作成している。又、状態変化時には介護計画の見直しを行っている。 | 本人や家族・職員の意見を取り入れてアセスメントをしている。それをもとに現状に即した介護計画を作成している。また状態が変化した場合にはそのつど見直しをしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>個別に日々の記録を行い情報を共有できるようにしており気づきがあった際には記録を行い介護計画に反映できるようにしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>本人の状況に応じて通院など必要な支援を行なうようにしている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>消防や周辺地域への働きかけを行っている。地域のイベントや活動に参加している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>入所時にかかりつけ医の確認を行い定期的な受診するようにしている。</p> | <p>本人や家族の希望するかかりつけ医で受診できるように支援している。定期的な受診と服薬により、適切な医療を支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>健康管理について看護職員と相談しながら随時、医療との連携を図るようにしている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院された場合は必ず退院後の話し合いを行っている。協力医療機関との関係づくりも密に行っている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化に伴う事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。又、必要に応じて同意書をもらうようにしている。</p> | <p>ホームと主治医から重度化した場合のホームができるケアについて、家族に説明して理解してもらっている。またターミナルケアをしていく指針作りもしている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>緊急時対応についてマニュアルを整備し周知徹底を図ると共に勉強会を実施し体験取得するようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>避難訓練を定期的に行い地域の方々も災害時の対応など関心を持たれている為に運営推進会議の際など情報提供を行っている。また、地域の方に参加して頂き話し合いや訓練など行うようにしている。</p> | <p>年4回の避難訓練をしている。施設周辺の協力が得られるように、常日頃から親しい交流をしている。民生委員や町内会長も近隣の住民でホームの災害について運営推進会議で意見をもっている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 誘導の声かけや言葉かけ等気をつけて行うようにしておりミーティング時など対応の仕方など話し合うようにしている。 | トイレ誘導など周囲の方に気配りをしながら、個人の尊厳を大切に、さりげなく支援している。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入居者各々の特性や個性に合わせて笑顔や言動を引き出せるように言葉かけ雰囲気作りを行い利用者に選択して頂けるように努めている。 | | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その時々本人の気持ちや体調に考慮しながら柔軟に対応する様にしている。 | | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 自分で選べる利用者には自分で選んでもらい困難な方にはその人らしさが出るようにしている。髪型もその人らしさが出るような髪型にしており希望があれば理美容院の利用が出来る。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニューも好みを聞きながら楽しんで食事が出来るように工夫したり利用者と同じテーブルと一緒に食べ会話しながらさりげなくサポートしている。 | ホーム内で、菜園を作っているので収穫を一緒に行い、調理に取り入れたりしている。また買い物では好みの食材を聞いて調理している。あと片付けなど一緒にして楽しい食事となっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量は毎食チェックしている。水分も常に気をつけて補給を促している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアの声かけ介助を行っている。又、口腔内の観察を行うと共に義歯の消毒を行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 日中、夜間共に排泄記録を付け各々の排尿間隔に応じた誘導を行っている。 | 排便がスムーズにできるように腹部のマッサージなどの工夫をしている。様子観察をしながらトイレでの排泄を誘導して自立に向けた支援をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事の際など食物繊維を含む献立を提供したり適度に運動を行って頂くようにしている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | くつろいだ入浴ができるように一人ひとりのペースに合わせて入浴してもらっている。又、シャワー浴は必要時、希望時にはいつでも行っている。 | いつでも入浴が楽しめるように工夫している。通常は夕方に入浴をしたり、希望があれば毎日でも入浴ができるようにしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 睡眠パターンを把握し夜間良眠できるように日中の散歩や外気浴など行っている。又、表情など観察しながら疲れた様子みられる時には休むように声かけしている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師の指示通りに服用できるように1回分ずつ名前を書き分けて管理している。現在服用中の文献をひとりずつファイルに綴じている。状態変化時には副作用との関連も検討している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 茶碗洗いや掃除、洗濯物たたみなどできる役割を見つけ楽しみを持ちながら過ごせるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>近所を散歩したり園庭で過ごしたりしている。買物等の声かけも行っており希望時には出かけたりにしている。弁当を持参しての外出やドライブなどの機会を持つようにしている。</p> | <p>日常的には、園庭や近所の散歩を支援している。また本人の希望を聞き、買い物や地域の行事や季節に応じ花見などの外出支援をしている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>力量に応じて金銭管理を行えるように支援して希望時には買物などの支援を行っている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>会話の出来る人は電話や難聴などで電話が難しい方は手紙などいつでも使用できるようにしている。又、家族の方にもいつでも電話して下さいとお願いしている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節を感じられるような草花や飾りなどでディスプレイし台所用品も家庭的な物を使用している。</p> | <p>季節感のある草花や壁の飾り付け、思い出の写真などが飾られて、空間作りに工夫がされている。全体的に落ち着いた色あい、安心して穏やかに過ごせるように工夫している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>冬場はコタツやソファで暖かい日は園庭にベンチで過ごされている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居時には今まで使用していた物を持ってきて下さるように話をしている。又、持参したものを使用してもらっている。</p> | <p>入居時に本人や家族から希望を聞いて、自宅で使っていた物を持ち寄り、自分の好きな位置に配置している。それぞれ個性的な部屋になっており、居心地のよい暮らしがされている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>一人ひとりの生活暦を把握し暮らしの中で能力が発揮できるように支援している。又、利用者の状態に合わせて手すりやベッドの位置など居住環境が適しているか見直し安全確保できるように配慮し環境整備にも気を付ける様にしている。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | ○ | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |